

寒河江市におけるさくらんぼ農園の経営戦略に関する研究

渡邊 俊輔

本研究では、地域農業の発展に貢献すべく、山形県寒河江市のさくらんぼ農園の経営戦略を明らかにすることを目的とした。研究方法として、2024年8月から9月にかけて寒河江市のさくらんぼ農園12農園と寒河江市役所農林課に対して聞き取り調査を実施した。農園では、生産者に対し、栽培から販売までの工程についての43項目を中心に調査を行った。寒河江市役所農林課への調査では、さくらんぼ農園への支援の状況とさくらんぼ農園の今後の在り方について意見を聞いた。

調査の結果、すべてのさくらんぼ農家で、さくらんぼを贈答用として販売し、直販に注力していることがわかった。また、栽培から加工まで行いながら、さくらんぼ狩りも受け入れている農園もあった。さらに、さくらんぼの他に和梨、りんご、米などの栽培拡大を通じて、収益向上に向けた取り組みも行っていた。寒河江市全体を見ると、品種の転換により今後のさくらんぼの収穫量平準化への取り組みが進められていることが明らかになった。